

# とうきょうすくわくプログラム活動報告書

園名	久米川保育園
日時	令和7年11月13日

## 1. 活動テーマ

<テーマ>

自然・・・4歳児「しいたけの栽培～生長観察～収穫」

<テーマ設定理由>

きのこに興味を示す子どもが多い。絵本や図鑑で調べたり、きのこについて知っていることを伝え合ったりして日ごろから親しみを持ち、散歩に出掛けると「ほこりだけ」「さるのこしかけ」などいろんなきのこを見つけて大喜びしていた。そこでしいたけの簡易キットを用意して、クラスで育てることにした。

## 2. 活動スケジュール

- 11/5(水)しいたけキットの準備(水に浸す)  
翌日から当番が霧吹きで水やりをする
- 11/10(月)休み明けに小さいしいたけがたくさんできていて喜ぶ
- 11/13(木)しいたけを収穫する様子を記録する

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・しいたけの栽培簡易キット
- ・霧吹き
- ・きのこの絵本や図鑑

## 4. 探究活動の実践

<活動内容>

準備～

- ・栽培に必要な原木や栽培キットの観察
- ・においや手触りによって感じる体験
- ・水に浸したことによる様子の変化に気づく。

日々の観察～

- ・毎日登園すると、すぐにしいたけの生長の様子に興味を示す。
- ・穴が開いている容器の上部より覗き込んでいる。
- ・昨日との様子の違いに気づく。
- ・友達と語り合う中で気づきを述べたり聞いたりして共有する。
- ・翌日の変化を楽しみにする。
- ・収穫への期待を高める。

収穫～(11月13日)

- ・当番の子どもが霧吹きをかけようとするが、しいたけが大きく育っていることを喜び、収穫をする。
- ・しいたけの様子、大きさ、色合い、においなど、子ども達がそれぞれに感じたことを言葉にする。
- ・収穫できた数を数える。
- ・残った原木からまた栽培できることを予想したり、次の収穫を楽しみにする。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関り>

<しいたけを収穫する様子>

R…「きのこができたー」

「裏は白で、柄がちょっとふわふわしてて、傘もふわふわで、においはしいたけ！普通においしく食べられそう」

K…「き、き、きのこ♪ き、き、きのこ♪」(歌いながら走る)

I…「大きいです！つやつや」

M…「きれいな感じ、ふわふわで気持ちいい」

R…「ちっちゃい、なんかすごいピッカピカ」

Te…「うわーすげー、収穫してるわー」(と後から気づく子ども)

(いくつも手に持ち)「きのこの家族！赤ちゃんきのこ。こうやったら傘だよ」

収穫する喜びや気づきを言葉にして表現する子ども達。

崩れないように大事に収穫しようとしたり、収穫したしいたけのにおいをかいだり、並べたり、大きさを比べたり、どの子どもも嬉しさを生き活きと表現していた。

栽培の準備～



生長観察～



収穫～



## 5. 振り返り <振り返りによって得た先生の気づき>

- ・子どもの興味に寄り添い一緒に楽しむことで、子どもの表情は生き活きとする。「先生もきのこが好きなんだね」と言われぐっと心の距離が近づくのを感じた。
- ・保育士が子ども達から教えてもらうことも多く、さらに知識を深めようと絵本や図鑑で調べようとしたり、周りの友達もまきこんで知りたいことを追求する姿が見られた。
- ・保育士の言葉掛け次第で、子どもの意欲や探求心が伸びていくことがわかり、見守ったり寄り添うことの大切さをあらためて気づかされた。
- ・散歩に出掛けると、きのこ探しだけでなくもぐら塚へも興味が広がり、もぐらの糞からできるきのこもあるようで、子ども達の好奇心や興味はとどまることを知らない。目に見えない土の中のことにも興味が広がっているようなので、それに応えられるような環境を整えたり、自分自身がそういう環境でありたい。